

「新幹線YEAR2022」の今年、新幹線駅長に、新幹線への思いやエピソード、必見の駅でのイベント情報などを、新幹線乗務員がインタビューします！

かんだ なりひろ
新潟駅 神田 成弘 駅長

インタビュアー・新潟新幹線運輸区
馬場 大澤



▲1979(昭和54)年国鉄入社。柏崎駅長、新潟支社総務部総務課長、新津駅長を経て2021(令和3)年3月から新潟駅長。

街全体がお祝いムード、待望の上越新幹線開業

上越新幹線は今年で開業40周年を迎えました。

— 1982年に上越新幹線が開業した当時は、どのような想いでしたか。

開業時、私は22歳で、越後湯沢駅に勤務していました。開業日当日は改札担当でしたが、210km/hというスピードでの運行に驚きました。開業前の試運転にも乗車しましたが、窓枠に鉛筆を立てても、揺れないということを実感したのをよく覚えています。湯沢町も歓迎イベントを催し、賑わいました。雪による遅延もなく、消雪設備の技術の高さにも驚きました。

— 上越新幹線と新潟駅がこれまで担ってきた役割と、

その役割は時代とともにどのように変化してきたのでしょうか。

上越新幹線開業により、新潟と首都圏が日帰り圏内になりました。観光という視点で大きな影響を与えたといえます。湯沢スキー・越後三大花火・新潟から佐渡へのご旅行・酒の陣などの観光流動が増加しました。そして新幹線開業前には考えられなかった、G7農業大臣サミットなどの国際会議や2002年のサッカーワールドカップ日韓大会の開催などは新幹線があるからこそ実現したと思います。また、新幹線は二酸化炭素の排出量が少なく、他の輸送機関より環境に優しいという点で大きな役割を果たしています。

—上越新幹線はのって楽しい列車（現美新幹線）の運行など走行する車両も進化を遂げてきました。

駅長の思い描く将来の新幹線像はどのようなものでしょうか。

「世界最速の芸術鑑賞・動く美術館」と言われた、現美新幹線は発想が素晴らしく、感銘を受けましたし、秋田新幹線として使われていたE3系が上越新幹線で運用されたことも感動しました。それから、グランクラスの導入や2021年11月22日から導入された「新幹線オフィス車両」も便利です。ウィズコロナの中、様々なアイデアが具現化されています。お客さまのニーズと価格をどのように反映していくかなど、まだまだ課題はあります。そのような中でもJRE POINTサービスでの鉄道利用で、1人でも多くのお客さまにグランクラスやグリーン車への乗車を体験いただき、良さを知っていただくことでご利用促進につなげていきたいです。

昨年、上越新幹線の新潟～新潟新幹線車両センター間で自動運転の試験も実施しました。異常時などを考えるとまだ乗り越えるべき課題は多いと思いますが、2018年より山手線でも同様の実証実験を行っておりますので、新幹線の自動運転実用に期待しております。



▲開業当時(1963年初夏)の新潟駅舎
出典：新潟市新津鉄道資料館

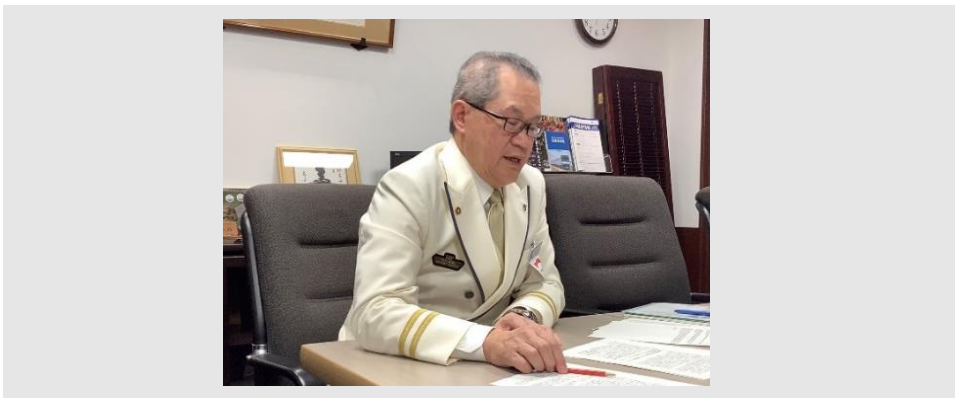


▲新潟駅万代広場側イメージパース
※今後の整備に伴い、変更の可能性があります。

「ヒト・モノ・情報」の交流・発信の場へ

— 上越新幹線停車駅・地方の主要駅として、今後新潟駅が果たしていくべき使命と役割はどのようなものなのでしょうか。

新潟市が進めている新潟駅周辺整備事業として、駅直下バスターミナルや万代広場が段階的に整備されることで、バスとの乗り換え利便性が向上し交通結節機能が強化されていきます。当社が進める高架下開発も、新潟駅周辺整備事業と連携しながら段階的に進め、駅の価値を高めていきます。これまでの駅という「リアルの交流拠点」が創ってきた価値を尊重しつつ、私たちだからこそできる「新たな暮らしのプラットフォーム」として地域の皆さまに「心豊かな生活」を提供し、街の賑わいづくりに貢献してまいります。



— 上越新幹線がお客さまや地域の皆さまに親しまれていると感じた出来事を教えてください。

2004年10月23日に発生した新潟県中越地震の際、私は新潟支社の営業部販売課で宣伝グループリーダーとして勤務しており、地震後の観光復興に尽力していました。日本国内では初めて新幹線の営業運転中の脱線事故となり、衝撃を受けたことを覚えています。66日後、同年12月28日に上越新幹線全線で運転再開しました。新潟駅からの1番列車が走り出した時は感動しました。新潟県主導の「がんばってます！！にいがたキャンペーン」が展開され、少しずつ観光客も戻りました。多くのお客さまからの励ましの言葉をいただくとともに、通勤・通学や観光、ビジネスにおいて新幹線はなくてはならない存在であると実感しました。

— 新潟駅長に就任されてから数々のイベントや取組みにより地域と関わってきた中で、印象に残っていることは何でしょうか。

私は昨年3月に新潟駅長に就任しました。コロナ禍のため大きなイベントは実施できていませんが、新潟商工会議所や新潟市等との協力関係を構築しながら、若手社員が「新米芸妓およねの謎解きタイムトラベル」を企画、実施しました（11/30まで）。現在は、新潟県に何度も訪れてもらえるような旅のきっかけ作りを目標にイベントを考えています。今年度は謎解きタイムトラベル第二弾を計画中です。ぜひ楽しみにしててください。

2018年、JR東日本初の、新幹線と在来線が同一のホームとなり便利に
—新潟駅の特徴・PRポイントを教えてください。

全社員がお客さまの立場になった対応を心がけています。新潟駅では今年6月5日に線路の切り替え工事を行い、地平ホームは完全高架化になりました。これにより新潟駅はJR東日本で初めて、新幹線と在来線がすべて同一のホームとなりました。これまでの新潟駅から大きく変わり、お客さまが通路を迷われる事のないようのご案内をしております。お身体の不自由なお客さま、白杖をお持ちのお客さまをはじめとした、さまざまなお客さまに気持ちよくご利用してもらうための勉強会を行い、「声かけ・サポート」を徹底しております。また乗車マナー向上に向けたキャンペーンも展開しております。

—新しい新潟駅となりました。これからの新潟駅はどのように変わり、
今後どのように発展していきますか。

※2022年6月5日から新駅舎に切り替わりました。現在、ロータリー部分などを引き続き工事中です。

新潟都心のまちづくり「にいがた2km」の出発点として、「新潟駅から万代、沼垂、そして古町」への回遊を促進することにより、地域活性化に貢献して参ります。



▲新潟駅に停車しているE7系(左)と
E2系(200系カラー)(右)

—地産品の多くはJRE MALLでもご購入いただけるようになりました。

駅長おすすめの商品をご紹介します。

新潟県の特産品を返礼品として受けられる、ふるさと納税をおすすめします。現在新潟支社管内では10市町村と契約しております。以前、柏崎駅長を勤めておりましたので、柏崎市の「越後バナナ」を特におすすめします。こちらは産業廃棄物焼却施設で発生する排熱を利用して生育された皮まで食べられるバナナです。他にも「越後姫いちご」、「笹だんご」など新潟県にはおすすめの特産品がたくさんあります。

— 「新幹線YEAR2022」や「鉄道開業150年」としての様々な企画を実施中ですが、お客さまにお知らせしたいイベントやキャンペーンについて教えてください。

11月15日の上越新幹線開業40周年に向けて駅構内では、新潟市内3箇所の保育園園児による新幹線塗り絵の展示、新潟駅社員から集めた新幹線写真ポスターの掲出を行いました。また、駅記念スタンプを新たに3種類作製し、12月31日までの期間限定で設置しています。そして現在、上越新幹線開業当時の200系カラーを再現したE2系新幹線が運転しております。

ぜひ新潟県にお越しください。お待ちしております。

■ 駅DATA ■



▲現在の新潟駅舎(万代口より)

■ 開業日

1904年5月3日

■ 新幹線開業日

1982年11月15日（大宮～新潟間）

■ 所属路線

上越新幹線、信越本線、白新線、越後線、
磐越西線